

令和7年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覧表  
 <全日制課程>

学 校 名	大 学 科	小 学 科 ( コ ー ス )	募 集 生 徒 数	特色入学者選抜				実施検査内容								一 般 入 学 者 選 抜				
				募集人員(人以内)	うち県外生徒(人程度)	出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等	調査書で重視する教科	学力検査	面接		口頭試問		作文	小論	実技検査	プレゼン	県外通学生徒募集実施	学力検査実施教科	調査書の合計評定：学力検査の合計得点	その他の検査内容
									個人	集団	個人	集団								
鳥 取 東	普 通 (単位制) 理 数 (単位制)	普 通 理 数	280	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5教科	130 : 250	面接	
鳥 取 西	普 通 (単位制)	普 通	280	10※	—	<出願要件> ○以下の(1)～(3)のいずれかに該当する者 (1)全国的または中国地区等レベルの大会やコンクールなどで入賞相当以上の成績を挙げた者 (2)中学校で履修した教科等に係る資格試験や検定等において卓越した能力を示したり、資格を得たりした者 (3)研究活動や社会貢献活動等において主導的な役割を果たし、顕著な成果を挙げた者 (注)例えば、英検2級以上、教検準1級以上、漢検準1級以上相当とする。 <選抜方法> ○本校の目指す教育や求める生徒像を踏まえ、志望理由書、自己推薦書、実績等を証明する書類、調査書、個人面接及びプレゼンテーションの結果等を資料とし、総合的に判定する。 <出願する際の評定の目安> ○第3学年の各教科の評定において、次の(1)、(2)の両方を満たす者 (1)9教科の評定平均が4.0以上 (2)5教科の評定においては、すべて4以上 <備考> ○県教育委員会が定める志望理由書とは別に、学校が定める自己推薦書とともに、出願要件にある(1)～(3)の実績等を証明する書類の提出を求めます。	無	●							※1	—	5教科	130 : 250	面接	
				※10人程度																
鳥 取 商 業	商 業 (単位制)	商 業	152	50	—	<出願要件> ○次の1～3のすべてを満たす者 1 ビジネス教育を学ぶ理由が明確であり、学習内容の定着（検定受験、資格取得等）に熱意のある者 2 基礎学力を備え、全ての教科の学習に主体的に取り組んでいる者 3 次の(1)または(2)のどちらかに当てはまる者 (1)中学校3年間の校内外の体育的活動や文化的活動において、個人又は団体（大会の登録選手）で県大会ベスト4以上（もしくは同程度以上）、県選抜に選ばれるなど優れた成績を収めた者 (2)(1)にはあてはまらないが、中学校3年間に、校内外で、主体的かつ継続的に取り組んだ活動等があり、そのことについて具体的に説明できる者 <選抜方法> ○志望理由書、調査書、実施検査内容、学校が求める証明書類等を資料とし、総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○第3学年の9教科の評定合計が30程度 <備考> ○県教育委員会が定める志望理由書の本文については、次のことを書いてください。 ・出願要件1および3(1)または(2)の具体的な内容 ○県教育委員会が定める志望理由書の備考欄に、出願要件3について以下のことを記載してください。 ・(1)については、大会名及び成績等 ・(2)については、活動内容、活動歴及び取り組み姿勢等	無	●				●				—	5教科	195 : 250	面接	
鳥 取 工 業	機 械 電 気 情 報 工 学 建 設 工 学		152	76	4	<出願要件> ○学習成績が優れ、学習・資格取得に積極的に取り組む意欲のある者 <選抜方法> ○志望理由書、調査書、学力検査、面接検査等を資料とし、総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○次の(1)、(2)の両方に該当する者 (1)第3学年の9教科の評定平均が2.8以上 (2)第3学年の数学の評定が3以上	無	●(数)	●							○	5教科	195 : 250	面接	

※1 実績等に係るものとなります。

学 校 名	大 学 科	小 学 科 ( コ ー ス )	募 集 生 徒 数	募 集 人 員 ( 人 以 内 )	う ち 県 外 生 徒 ( 人 程 度 )	出 願 要 件 , 選 抜 方 法 , 出 願 する 際 の 評 定 の 目 安 等	調 査 書 で 重 視 する 教 科	実 施 検 査 内 容								一 般 入 学 者 選 抜				
								学 力 検 査	面 接		口 頭 試 問		作 文	小 論	実 技 検 査	プ レ ゼ ン	県 外 通 学 生 徒 募 集 実 施	学 力 検 査 実 施 教 科	調 査 書 の 合 計 評 定 : 学 力 検 査 の 合 計 得 点	其 他 の 検 査 内 容
									個 人	集 団	個 人	集 団								
鳥 取 湖 陵	農 業	食 品 シ ス テ ム	38	19	—	<出願要件> ○次の1,2の両方に該当する者 1 農産物の生産や加工に興味・関心があり,積極的に学習しようとする意欲のある者で,専門性を活かして上級学校進学や地域農業・食品関連産業などの発展に貢献しようとする者 <出願要件(各科共通)> 2 次の(1)~(6)のいずれかに該当する者	無		●								—	5 教科 195 : 250	面接	
		緑 地 デ ザ イ ン	38	19	—	<出願要件> ○次の1,2の両方に該当する者 1 造園や草花に興味・関心があり,積極的に学習しようとする意欲のある者で,専門性を活かして上級学校進学や地域産業などの発展に貢献しようとする者	無		●							○				
	工 業	電 子 機 械	38	19	—	<出願要件> ○次の1,2の両方に該当する者 1 機械や電気・電子に興味・関心があり,積極的に学習しようとする意欲のある者で,専門性を活かして上級学校進学や地域産業などの発展に貢献しようとする者	無		●							○				
	家 庭	人 間 環 境	38	19	—	<出願要件> ○次の1,2の両方に該当する者 1 衣食住や保育・福祉など家庭科の内容に興味・関心を持ち,積極的に学習しようとする意欲のある者で,専門性を活かして上級学校進学や地域産業などの発展に貢献しようとする者	無		●								○			
	情 報	情 報 科 学	38	19	—	<出願要件> ○次の1,2の両方に該当する者 1 ICT機器を利用した情報の活用や発信に興味・関心があり,積極的に学習しようとする意欲のある者で,専門性を活かして上級学校進学や地域産業などの発展に貢献しようとする者	無		●								○			
青 谷	総 ( 単 位 制 合 )		76	22	3	<出願要件> ○本校の学科の特色(「スクール・ポリシー」)を理解し,入学後は「アドミッション・ポリシー」のように高校生活に取り組み,学業を成し遂げると強い意志を持っていること。 <選抜方法> ○志望理由書,調査書,学力検査,面接検査等を資料とし,総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○なし	無	●	●								○	5 教科 195 : 250	面接	
岩 美	普 通 普 通		76	38	12	<出願要件> ○次の1,2の両方に該当する者 1 将来の職業選択を視野に入れ,自己の進路への自覚を深めながら学び続ける意欲がある者 2 3年間の中学校生活における部活動や校内外の文化的・体育的活動等において積極的に活動し,高校入学後もこれまでの活動を生かして積極的に取り組む意欲があり,かつ次の(1),(2)のいずれかに該当する者 (1)文化的活動,体育的活動を3年間継続した者 (2)地域の行事,地域に貢献する活動に積極的に取り組んだ者 <選抜方法> ○志望理由書,調査書,実施検査内容を資料とし,総合的に判定する。 <出願する際の評定の目安> ○特になし	無		●								○	5 教科 195 : 250	面接	



学 校 名	大 学 科	小 学 科 ( コ ー ス )	募 集 生 徒 数	特 色 入 学 者 選 抜				一 般 入 学 者 選 抜												
				募 集 人 員 ( 人 以 内 )	う ち 県 外 生 徒 ( 人 程 度 )	出 願 要 件 , 選 抜 方 法 , 出 願 する 際 の 評 定 の 目 安 等	調 査 書 で 重 視 する 教 科	実 施 検 査 内 容								県 外 通 学 生 徒 募 集 実 施	学 力 検 査 実 施 教 科	調 査 書 の 合 計 評 定 : 学 力 検 査 の 合 計 得 点	其 他 の 検 査 内 容	
								学 力 検 査	面 接		口 頭 試 問		作 文	小 論	実 技 検 査					プ レ ゼ ン
						個 人   集 団		個 人   集 団												
倉 吉 東	普 通 ( 単 位 制 )	普 通	200	30※	3	< 出 願 要 件 > ○ 次 の 1 又 は 2 に 該 当 する 者 1 探 究 心 を 持 ち , 主 体 的 に 自 ら の 学 び を 深 め て いく 意 欲 の ある 者 ( ス ポ ー ツ ・ 文 化 芸 術 活 動 で の 取 組 を 含 みます ) 2 国 際 的 な 視 野 を 身 に つ け 将 来 国 内 外 で 活 躍 し たい と いう 希 望 を 持 っ 者 , 又 は 国 際 バ カ ロ レ ア 教 育 に 興 味 関 心 の ある 者 < 選 抜 方 法 > ○ 調 査 書 , 志 望 理 由 書 ( 活 動 実 績 を 含 む ) , 作 文 及 び 面 接 の 内 容 等 を 資 料 と し , 総 合 的 に 判 定 し ます 。 < 出 願 する 際 の 評 定 の 目 安 > ○ 第 3 学 年 の 9 教 科 の 評 定 平 均 が 4. 0 以 上 < 備 考 > ○ 次 の 1 , 2 の 項 目 に 該 当 する 者 は , そ の 内 容 に 応 じ て そ れ ぞ れ 評 価 に 加 味 し ます 。 1 校 内 外 で 研 究 ・ 探 究 的 な 活 動 を 行 い , そ の 成 果 が 大 会 等 で 認 め ら れ , 優 秀 な 成 績 を お さ め た 者 2 数 学 , 理 科 , 技 術 ・ 家 庭 ( プ ロ グ ラ ミ ン グ ) の い ず れ か の 分 野 で , 公 的 な 資 格 を 有 し て い る 者 調 査 書 で は , 実 用 英 語 技 能 検 定 準 2 級 以 上 を も っ て い る 受 検 生 は 第 3 学 年 の 英 語 の 評 定 を 5 と し て 扱 い ます 。 ま た , 第 3 学 年 の 数 学 の 評 定 に つ い て は 2 倍 に し て 選 抜 の 資 料 と し ます 。	数 学 ・ 英 語		●								○	5 教 科	195 : 250	面 接
倉 吉 西	普 通 ( 単 位 制 )	普 通	120	24※	3	< 出 願 要 件 > ○ 次 の 1 , 2 の 両 方 に 該 当 する 者 1 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 の 実 績 を 有 する 者 ( 主 催 者 の 証 明 が 必 要 ) 2 次 の ( 1 ) , ( 2 ) の い ず れ か に 該 当 する 者 ( 1 ) 英 検 3 級 以 上 相 当 の 資 格 , ま た は , そ れ に 相 当 する 英 語 の 学 力 を 有 する 者 ( 2 ) 理 数 分 野 に 興 味 ・ 関 心 が あ り , 入 学 後 も 積 極 的 に 学 習 し よ う と する 意 欲 の ある 者 < 選 抜 方 法 > ○ 志 望 理 由 書 , 調 査 書 , 実 施 検 査 内 容 等 を 資 料 と し , 総 合 的 に 判 定 し ます 。 < 出 願 する 際 の 評 定 の 目 安 > ○ 第 3 学 年 の 各 教 科 の 評 定 に お い て , 次 の 1 , 2 の 両 方 を 満 た す 者 1 9 教 科 の 評 定 平 均 が 3. 8 以 上 2 次 の ( 1 ) , ( 2 ) の い ず れ か に 該 当 する 者 ( 1 ) 英 語 の 評 定 が 4 以 上 ( 2 ) 数 学 又 は 理 科 の 評 定 が 4 以 上 < 備 考 > ○ 出 願 要 件 1 に つ い て は , ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 の 実 績 を 証 明 する 書 類 の 提 出 を 求 め ます 。	無		●						●	○	5 教 科	130 : 250	面 接	
倉 吉 農 業	農 業	生 物	34	10	5	< 出 願 要 件 > ○ 当 該 学 科 の 「 ア ド ミ ッ シ ョ ン ・ ポ リ シ ー 」 の す べ て に 該 当 する 者 < 選 抜 方 法 > ○ 志 望 理 由 書 , 調 査 書 , 実 施 検 査 内 容 等 を 資 料 と し , 総 合 的 に 判 定 し ます 。	無		●							○	5 教 科	195 : 250	面 接	
		食 品	34	10	5	< 出 願 する 際 の 評 定 の 目 安 > ○ 第 3 学 年 の 9 教 科 の 評 定 合 計 が 27 以 上														
		環 境	34	10	5															

学 校 名	大 学 科	小 学 科 ( コ ー ス )	募 集 生 徒 数	特 色 入 学 者 選 抜				一 般 入 学 者 選 抜													
				募 集 人 員 ( 人 以 内 )	う ち 県 外 生 徒 ( 人 程 度 )	出 願 要 件 , 選 抜 方 法 , 出 願 する 際 の 評 定 の 目 安 等	調 査 書 で 重 視 する 教 科	実 施 検 査 内 容								県 外 通 学 生 徒 募 集 実 施	学 力 検 査 実 施 教 科	調 査 書 の 合 計 評 定 : 学 力 検 査 の 合 計 得 点	其 他 の 検 査 内 容		
								学 力 検 査	面 接		口 頭 試 問		作 文	小 論	実 技 検 査					プ レ ゼ ン	
						個 人		集 団													
倉 吉 総 合 産 業	工 業	機 械	38	19	2	<b>&lt;出願要件&gt;</b> ○次の1～3のすべてに該当する者 1 当該学科のスクールポリシーを理解しており,当該学科を志望する動機・理由や将来の進路目標が明確であること 2 学習成績が良好で,学習・資格取得に積極的に取り組む意志があること 3 基本的な生活習慣を身につけているとともに,生徒会活動・スポーツや文化的な活動などの諸活動に優れた能力・適性・実績を有し,入学後も継続する強い意志を有すること <b>&lt;選抜方法&gt;</b> ○志望理由書,調査書,実施検査内容等を資料とし,総合的に判定します。 <b>&lt;出願する際の評定の目安&gt;</b> ○なし	無														
		電 気	38	19	2																
	商 業	ビ ジ ネ ス	38	19	2																
	家 庭	生 活 デ ザ イ ン	38	19	2																
鳥 取 中 央 育 英	普 通 ( 単 位 制 )	普 通	120	特 別 活 動 特 色 選 抜				無													
				20	3	<b>&lt;出願要件&gt;</b> ○次の1～4のいずれかに該当する者 1 特別活動(学級活動,生徒会活動,学校行事)の中心的存在として,その充実・発展に努めた者 2 所属する部活動・クラブチームの中心的存在として,その充実・発展に努めた者 3 級の目安が明示されている資格試験で,中学校卒業程度以上の資格・検定を取得している者(例)英検3級,漢検3級,数検3級など 4 課題研究等についての校外発表会への参加や,年間を通して継続的にボランティア活動に取り組むなど,意欲的に課外活動に取り組んだ者 <b>&lt;選抜方法&gt;</b> ○志望理由書,調査書,実施検査内容等を資料とし,総合的に判定します。 <b>&lt;出願する際の評定の目安&gt;</b> ○第3学年の9教科の評定合計が27以上の者															
				ス ポ ー ツ 活 動 特 色 選 抜				無													
			20	7	<b>&lt;出願要件&gt;</b> ○次の1,2の両方に該当する者 1 2年次以降,スポーツ探究類型に所属し,その学びを高いレベルで実践できる本校部活動に入る者。対象の部は原則として,陸上競技部,山岳部(クライミング),水泳部(水球),レスリング部,バレーボール部男子,ソフトボール部男子,野球部とする。 2 上記1の部活動(クラブチームも可)で,下記(1)～(3)のいずれかの実績を有している者 (1)全国・ブロック(中国大会など)レベルの大会に選手として出場した者 (2)都道府県レベル(鳥取県外の場合は,地区大会も可)の大会において,選手として団体ベスト4以上,個人8位以上の入賞の実績をあげた者 (3)都道府県以上の規模の選抜チームに選出された者 ※なお,水泳部(水球)は競泳,レスリング部は柔道・相撲,ソフトボール部は野球も可とする。 <b>&lt;選抜方法&gt;</b> ○志望理由書,調査書,実施検査内容等を資料とし,総合的に判定します。 <b>&lt;出願する際の評定の目安&gt;</b> ○第3学年の9教科の評定合計が24以上の者																
								※6 反復横跳び、立ち幅跳び、握力、上体起こし、長座体前屈を行います。													

学 校 名	大 学 科	小 学 科 ( コ ー ス )	募 集 生 徒 数	募 集 人 員 ( 人 以 内 )	う ち 県 外 生 徒 ( 人 程 度 )	特 色 入 学 者 選 抜 出願要件, 選抜方法, 出願する際の評定の目安等	調 査 書 で 重 視 す る 教 科	実 施 検 査 内 容								一 般 入 学 者 選 抜				
								学 力 検 査	面 接		口 頭 試 問		作 文	小 論	実 技 検 査	プ レ ゼ ン	県 外 通 学 生 徒 募 集 実 施	学 力 検 査 実 施 教 科	調 査 書 の 合 計 評 定 : 学 力 検 査 の 合 計 得 点	そ の 他 の 検 査 内 容
									個 人	集 団	個 人	集 団								
米 子 東	普 通 ( 単 位 制 )	普 通 ( 生 命 科 学 )	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5 教 科	130 : 250	面 接			
		普 通 ( 普 通 )	240																	
米 子 西	普 通 ( 単 位 制 )	普 通	280	35	-	<出願要件> ○次の(1)～(5)のいずれかに該当する者 (1)生徒会長・副会長 (2)部活動(地域のクラブを含む)実績県3位以内又は中国大会以上出場 (3)部活動(地域のクラブを含む)県選抜又は部長 (4)英検準2級以上 (5)科学の甲子園ジュニア等の研究大会において県大会に出場する等の顕著な成績 <選抜方法> ○志望理由書, 調査書, 実施検査内容等を資料とし, 総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○第3学年の9教科の評定合計が33以上 <備考> ○出願要件(1)～(5)の実績等を証明する書類の提出を求めます。	無	●							●	-	5 教科	130 : 250	面接	
米 子	総 ( 単 位 制 合 )		152	38	-	<出願要件> ○総合的な学習の時間・特別活動等においての実績があり, その実績についてプレゼンテーションができる者 <選抜方法> ○志望理由書, 調査書, 実施検査内容等を資料とし, 総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○第3学年の9教科の評定平均が3.2以上	無	●							●	-	5 教科	195 : 250	面接	
米 子 南	商 業 I T ビ ジ ネ ス 家 庭	I T ビ ジ ネ ス	114	45	-	<出願要件> ○次の1～4のいずれかに該当する者 1 部活動(クラブチーム等による活動を含む)を3年間積極的かつ継続して取り組んだ者 2 生徒会活動, 学級活動等で中心的な役割を果たした者 3 各種検定で一定水準以上の級を取得した者(英検3級以上, 漢検3級以上, 情報処理検定など) 4 自主的に地域活動・ボランティア活動等に参加した者 <選抜方法> ○志望理由書, 調査書, 実施検査内容等を資料とし, 総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○第3学年の9教科の評定平均が3.0以上である者	無	●	※7								○	5 教科	195 : 250	面接
		生 活 創 造 ( ラ イ フ デ ザ イ ン )	18	7																
		生 活 創 造 ( 調 理 )	20	8																
								※7 志願者数により、面接は集団面接に変更場合があります。												





令和7年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覧表  
 <定時制課程>

学 校 名	大 学 科	小学科(コース)	募 集 生徒数	募集人員 (人 以内)	うち県 外生徒 (人程 度)	出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等	調 査 書 で 重 視 す る 教 科	実 施 検 査 内 容								一 般 入 学 者 選 抜				
								学 力 検 査	面 接		口 頭 試 問		作 文	小 論	実 技 検 査	プ レ ゼ ン	県 外 通 学 生 募 集 実 施	学 力 検 査 実 施 教 科	調 査 書 の 合 計 評 定 ； 学 力 検 査 の 合 計 得 点	そ の 他 の 検 査 内 容
									個 人	集 団	個 人	集 団								
鳥 取 緑 風	総 合 (単位制)	【 午 前 】	70	14	-	<出願要件> ○高校生活の目標を持ち、自分を律することができる者で、次の1,2のいずれかに該当する者 1 学習への意欲があり、働きながら高校卒業を目指そうとする者 2 ルールを守ることができ、かつリーダーシップが備わっている者 <選抜方法> ○志望理由書、調査書、面接・作文検査結果等を資料とし、総合的に判定する。 <出願する際の評定の目安> ○なし	無	●						○	3教科 国語・ 数学・ 英語	150: 150	面接			
		【 午 後 】																		
		【 夜 間 】	20	4	-															
倉 吉 東	普 通 (単位制)	普通	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3教科 国語と 他の4 教科か ら志願 者が2 教科を 指定	150: 150	面接			
米 子 東	普 通 (単位制)	普通	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	3教科 国語と 他の4 教科か ら志願 者が2 教科を 指定	150: 150	面接			
米 子 白 鳳	総 合 (単位制)	【 午 前 】	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3教科 国語・ 数学・ 英語	150: 150	面接			
		【 午 後 】																		
小 計			220	18																

令和7年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覧表  
 <通信制課程>

学 校 名	大 学 科	小学科	募 集 生徒数	選 抜 方 法
鳥 取 緑 風	普 通 (単位制)	普 通	約 80	面接・書類審査
米 子 白 鳳	普 通 (単位制)	普 通	約 80	面接・書類審査
小 計			約160	

## 令和7年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覧表の見方

- 実施検査内容の「●」が、各校が実施する検査内容です。
- 実施検査内容の学力検査の●のあとの( )は、実施する学力検査の教科です。(国)は国語,(数)は数学,(社)は社会,(理)は理科,(英)は英語,(総)は総合問題です。
- 実施検査内容の「小論」は小論文,「プレゼン」はプレゼンテーションをあらわします。
- 5教科とは「国語,社会,数学,理科,外国語」をさし,9教科とは5教科に「音楽,美術,保健体育,技術・家庭」をくわえたものです。
- 「出願する際の評定の目安」を示している場合,次のとおりです。
  - ・その高校に入学後の学習を円滑に進めるための目安として示しています。
  - ・評定については,次のとおりです。
  - ・2学期制の中学校等の受検生は前期の通知表を参考に,3学期制の中学校等の受検生は1,2学期の通知表を参考にし,自ら判断して出願します。
  - ・評定合計は,対象となる教科の評定の合計数,評定平均は,対象となる教科の評定の合計数を対象となる評定数で除した数値(小数点第2位を四捨五入)です。
- (例)国語 3, 社会 3, 数学 4, 理科 4, 英語 5, 音楽 3, 美術 3, 保健体育 4, 技術・家庭 3 →  $(3+3+4+4+5+3+3+4+3) \div 9 = 32 \div 9 = 3.555\cdots$  → この場合の評定合計は32,平均評定は「3.6」となります。
- 実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)は「英検」,日本漢字能力検定(公益財団法人日本漢字能力検定協会)は「漢検」,実用数学技能検定(公益財団法人日本数学検定協会)は「数検」とあらわしています。